

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「触れ合う心がお互いにうれしい、支えあって、認め合って、良縁を結び安らぎのある第2のゆかりの里」を開設当初よりスローガンとして掲げています。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入居者の対応の仕方や家庭との連携を大切に理念は事務所に掲示しミーティング時には理念に立ち返りケアのあり方を追求している。		
	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	自治会に加入し、ゆかりの里コーラス隊は今年も地域の納涼祭・千葉工業大学千種寮祭にて歌で広がるおつきあいをし沢山の方達に拍手をいただきました。100円セールふれあい広場・芸術の秋にソプラノ歌手のコンサートに地域の皆様を招待し触れあう入居者の姿に活動の意義を改めて痛感し理解をいただいております。		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の人達が散歩の途中よって下さいますし、珍しいものを届けてくれます。皆様の散歩コースの道程でもあるゆかりの里は、道沿いにベンチを設置し「一休みして下さい」と声かけしております。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩時には近隣の方達と気軽に挨拶を交わし、千種神社の清掃等地域の皆様のお役に立ちたいと年2回交流活動を続けております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	開設以来介護者教室・クリスマスコンサート、ボランティアに車いすの操作の仕方等指導したりしております。近隣の96歳の独居の高齢者が遊びにきて共にお茶をしたり食事を提供する事もあります。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で自己評価に取り組んでおり、管理者がまとめている。日々のケアを振り返りながらサービスの向上に繋がられるように取り組んでいる。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	やまびこ推進会議となづけられた運営推進会議は、自治会長・長寿会長・高校の校長・ふるさと農園長・民生委員・あんしんケアセンター・市の介護相談員・家族会・職員・入居者代表が集い協議している。沢山の意見をいただいております。地域密着型の福祉活動を展開しております。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	感染症の問題・事故報告の問題等相談に窓口に出向いたり度々あります。介護相談員にも貴重な意見をいただいたりしています。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を利用されたご家族と共に取り組み裁判所の方も交えて話し合いを持ちました。制度に関する理解を深めるようにしております。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束・虐待防止の研修に参加した職員を中心に勉強会を持ってあります。身体拘束がもたらす多くの弊害、身体拘束廃止に向けた話し合いをお互いに確認しあいました。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居契約時に十分な説明、理解をいただいております。又リスクや重度化、看取りについては指針に基づいて説明をし理解を得るようにしております。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>当ホームは大きな声を出さない、怒鳴らない、指導的にならないをモットーにしております。入居者より、よくでる内容はもっと厳しく注意してほしい(ご自分以外)が一番多く、明るいから電気はもったいない、食べるときは静かに食べましょう、沢山の指導を受け運営に生かしています。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>3ヶ月に一度のおたより、ご家族の来訪時に状況を報告している。苦情解決の仕組みをご家族に説明し要望を引き出すようにしております。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関にご意見箱を設置しており家族会にも直接いえないこと、不満・提案等吸い上げてくれるように働きかけをしている。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者は職員の意見・相談等は遅くまでいるのでいつでも受け付けますと聞く機会を設けている。職員の思いを反映させたいと思っている。又施設運営の改善につながるように努めている。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者の体調、ご家族の状況により職員の体制は、リーダー・正職員が何かあったとき確保できるようになっている。又突発的な事故等には勤務を変更し、残業で対応したり実際に協力的である。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>デイサービスの事業所もあるが合同での行事、又デイの利用者が提供日以外にも遊びに来たり食事と一緒に、居間で仲良く過ごす等日々の暮らしの中では職員の交流も多く隣組としてのなじみの関係が出来、違和感もなくすごしている。(デイに開設時2名の異動あり)</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が外部研修を受講する機会を積極的に設け、職員育成に努めている。研修成果を報告書にまとめ会議時に発表し職員全体で学ぶ機会を確保している。		
20	運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は千葉県・千葉市のグループホーム連絡会に加入し世話人として交流やネットワーク作りに積極的である。近隣の5事業所とは交流を持ち情報交換・サービスの向上に繋げている。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	介護現場は特にストレスは多いと思っている。話し合いを多く持って環境作りに取り組んでいる。職員間の状況は皆さん良いと言ってくれるが……毎回外部評価時に話し合いを持っている。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	興味のあることや学びたいこと等把握し資格取得について勉強会の機会や試験日等調整している。各自ががんばっている様子に応援したりしている。		
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居者の個性を大切に特徴を捉え、本人の困っていることには時間をとり気持ちを受け止められる様に、事柄だけでなく「どういう事なの」「どうしてそちらに結びつくの」心情を探りながら聞く機会を持つようにしている。		まだまだ充分とはいえない、仲間に入れない人・水泳が出来ないからここはおもしろくない、できるにはどうしたらよいの等々、気持ちは受け止めようとしているが、共感出来ない？ 試行錯誤の毎日 です。
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面会時にはいかがでしたか？ 声掛けをし話を聞くようにしている。相談にこられた時は色々な状況や経緯について話をゆっくり聞いてうまくいくように努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族からの情報等を聞き何が必要か？ミ会議・担当者会議等において共有しながら支援を話し合っている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望があったときは、ご自宅に向いたり、見学して頂いたり、短時間でも過ごして頂くなどの支援がなされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者に寄り添い沢山話を聞き、ほめたり、感謝したりの会話が多い。調理においては味付けなど真剣に学び、これまでの人生経験や知恵を生かしてもらえる場面がある。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との関係は外泊時も共に協力しあってお互いの思いを聞いたり、話したりしてご家族と共に作れるように配慮している。混乱もなく無事に帰宅できる様に連絡を取り合い支援している。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	行事には出来るだけ一緒に参加できるように働きかけている。月に1度利用料を届けがてら顔を見にきて下さいと進めている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者の来客は私達にとっても大事な人、お茶・昼時は食事と一緒に楽しめる様に努めている。宗教関係の方にも月1度は会いに来て下さいとお願いしたりしている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	仲良し組が2組いて楽しそうにしている。他の人は仲間に入れないので、仲良し組を別々に誘い他の入居者とも関わられるように潤滑油の役割を努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	長期入院になり退所された方をお誘いしてホームに遊びに来たり、昔の仲間としてコーラスを共に歌い楽しんで帰られた。コーラス隊として遊びに行く計画も打診している。広報等は退所されたご家族にも送付している。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の思いや希望は最も大切に多少間違っても全て受け入れその人らしく暮らし続ける様に努めている。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を使い生活歴・なじみの関係をご家族の協力を得て進めております。これまでの生活環境に近い暮らしぶりが出るように支援している。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の生活の中では有する能力に応じ無用な手出しはせぬように把握し支援している。小さな動作や心理面を見逃さず情報を共有している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者がアセスメントをし本人・ご家族・全職員を含めた担当者会議にて検討し介護計画を作っている。ご家族より意見やアイデアいただき反映させている。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	設定された期間に実施中の計画では対応できない場合はその都度見直し新たな計画を作成している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルにて食事・水分量・排泄等の身体状況・精神状況など日々の暮らしの様子を記録している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人やご家族の状況に応じて協力しあい、入院時も週2～3回洗濯物入れ替え・食事介助したり不穏にならないように顔をだしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	やまびこ推進会議が発足したことにより各機関との連携がとれたりご指導頂きながら良い関係作りが出来ている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のケアマネージャとは連携とったり、病院の師長のご意見をいただいたりしているが、他のサービスを利用するための支援は行っていない。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	やまびこ推進会議においてあんしんケアセンターの職員が参加あり沢山の意見をいただいております。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院の院長はケアマネージャーでもあり入居者の医療的な事では照会状をFAXすると で返答してくれるので心強いです。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>認知症に詳しい医師との協力体制は出来ている。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>看護師が1週間に1回勤務し健康管理や医療面での相談・助言等対応頂いている。又併設のデ-サービス看護師が常時いるので安心感がある。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入居者が入院したときは協力しあって極力顔を出すようにして食事量、混乱していないか週2～3回面会に行く。退院も早めの退院に向けて話し合っている。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>出来るだけ早い段階に於いて話し合いを持っている。やまびこ推進会議等においても重度化した入居者を支えて行くためにもターミナルケアを視野に入れて話し合いを進めている。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること、できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>ターミナルケアのマニュアルを作成し看取りはご家族の希望でお一人勉強させて頂きました。今後も他職種と連携を持ちご家族の協力のもと取り組んで行く予定であります。</p>		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>入居時は出来るだけ情報をもらえるようお願いして、その後もケアマネージャーに連絡を入れたり一緒にダメージを取り除く事に努めている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>申し送りは事務室で行い、職員間のお話は入居者の前で話さないことになっている。大事な話は職員室で話す事は徹底されている。声かけや態度に失礼にならないように目にした場合は職員会議の中で何度も話し合う。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>自己決定の場面等多くもてるように働きかける。何を食べたいか？何処に行きたいか等……</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>昼夜の生活が崩れない程度にその人なりのリズムで過ごし方任せている。散歩の好きな人は3回/日に行くことあり。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>で</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>なるべく本人の望む化粧品等購入できるように、希望する物が購入したり食べたいものを買ったり、ご家族への希望も伝えたりしている。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>好き嫌いの激しい人がいて、毎回悩みながら一品でも好きな物用意する様になっている。調理は6人の方達が何かしら関わり片付けまで手伝ってくれる。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>お酒・ビールは行事毎に提供している。お酒の好きな方には寝酒として本人買い置きしている。最近入居された方がウイスキー大好きとのことで寄付を受けた物がありクリスマス会様に取り置きしてある。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の感覚は無いが日中は自パンツに小さめのパットを入れて誘導しており時間をかけて排尿しております。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	夏場は頻繁に入浴・シャワー浴でした。最近は週3日程度である。遅番1人体制のため夜間の入浴は出来ていない。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中に活動しても昼寝をする人は2人程度、夜間帯居室の明かりは控えめに落とし睡眠の体制としている。19:30過ぎには皆さん早めの休息となり眠れない人はいないです。22:00頃まで起きている人もいます。)中には夜中ご飯は？起きてくる人もいます。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	鬱傾向の人にはデイに美味しい物をお裾分け(届け)をお願いし、デイより拍手で迎えられ、思わぬコミュニケーションに本人的には嬉しそうで満足気であった。その時々に応じて支援している。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族に財布の中身を確認してお小遣いをあげて欲しいと声かけしている。お金を忘れている人が、頂いたことが嬉しく職員に話してくれ感動しました。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出は散歩・買い物・ペットショップで動物とのふれあい・図書館・コーラス隊として交流訪問等たくさんあります。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	入居中に夫を亡くされた人がいて、近い事もあり、弁当持参でみんなで墓参りをしました。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	グループホームひこうせんとの交流があり、絵手紙での文通をしている。ご家族にも絵手紙を出している。 は夜間帯にかけるように進めている。(職場にはかけないように)		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	仲の良い友達・ご家族等にも、お茶を出したり、食事を提供したり、宗教中間にも遊びに来て下さいとお願いしている。入居者にとって大事な人は職員にとっても大切な人と話し合っている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する勉強会・検討会を実施し指針に基づいて日常的なケアが身体拘束に当たらないかの検討をしている。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵をかけない自由な暮らしの支援をしている。利用者一人ひとりの精神状態を把握しその日の行動については常に気を配っている。外出しそうな方には声掛けの仕方や対応について工夫している。散歩してもすぐ忘れて声がかかる状況です。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	記録や調理中も利用者と同じ空間で行い、何処にいても見渡せる建物の環境であり危険察知出来ない人には特に所在を把握しながら業務をこなしている。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	職員の目の届きにくい場所では洗剤や薬品は高いところで、安全な場所に保管している。職員は充分なる見守りの元調理もし、包丁も使用しているが、使い終わったら鍵のかかる場所に保管している。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリはっつ・事故報告書を提出し毎回検討し全職員にたいしリスクに対しての意識を高める様に努めている。行方不明者の捜索訓練を警察にお願いし年2回実施している。転倒事故は開設以来2回もあり気を引き締めております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職員が入職して最初に学ぶのが緊急時の対応です。何度も勉強会をして各自が対応できるようにしている。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	やまびこ推進会議において避難場所を犢橋高校ではあるが、前校長の時に北側のフェンスから出入り出来るように話し合いを持ち、賛成してくれたがその後異動となり、又新たにやまびこ推進会議にて提案している。教育委員会に話の通じる方がいて鍵を預かってくれるのであれば進めましょと嬉しいお言葉をいただいております。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご自分の意志で生活を楽しんで頂くために出来るだけ制限のない生活を送ってもらうため精一杯見守りはしますが、リスクは付き物ですとご家族と話し合い理解してもらうように努めています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バイタルチェックをし健康管理に努めている。小さな変化にも見落とさないようにしている。看護師に報告したり指示を仰ぐ等全職員で情報交換をし状態が急変したときは主治医の早めの受診をしている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別ファイルに薬の内容・副作用等ファイルされ全職員が理解する様にし、薬に対する状態の変化等についてすぐに管理者・リーダーに報告する体制をとっている。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分の少ない入居者には摂取量・排便の記録し繊維質の物を多く取り入れるように工夫し日中は散歩・レクなど取り入れ身体を動かす様にしている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの重要性を話し合い毎食後の歯磨きを声かけ、習慣づける様にしている。歯磨きの難しい方においても根気よく実施している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	必要な方には食事量・水分量を把握し、食べれないときにはエンシュウ缶を提供している。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症のマニュアルに添って日頃より予防に努めている。インフルエンザの予防接種を早めに行いノロウイルス対策は手洗いうがいの徹底をはかっている。入居者が疥癬の疑いで入られたが、完治するまで1ヶ月隔離し熱湯消毒・熱処理(乾燥機)をして何方にもうつる事無く完治された。千葉市に報告済みです。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板・布巾等は毎日消毒し、冷蔵庫も点検調理器や台所の水周りはその都度清掃し清潔に保っている。残飯はその都度畑に埋めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りは花を絶やさず入居者が手入れをしている。犢橋高校一周は千種町の散歩コースでもあり、最近花壇のそばに椅子を設置、どうぞ一休みして行って下さいと声かけしています。掲示板を設置したら、立ち止まって見てくれます。芸術の秋にソプラノ歌手のご案内をしたら8人程地域からきて下さり一緒に楽しみました。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	シンプルではあるが椅子やテーブルは家庭的なものであり、中庭より採光を取り入れ冬場は暖かい。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	こたつで茶飲みする姿も見られます。仲良し組も2組います。歌を歌ったり、カルタ遊びをしたり居場所のある環境づくりに努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込みの制限はしておらずなじみの物写真等飾り居心地よく過ごせるようにしております。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	吹き抜けでもあり外気温との差は5～6度でありぬくぬくとはしておらず居室においては利用者の状況により対応している。冬場も毎日散歩しているが風邪を引くこともなく元気である。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりをつけ安全面に配慮し、歩行困難者には車いすを用意し活動的な日常になるように工夫している。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	季節にあわせた行事を計画し、音楽を流したりコーラス隊の歌詞集の入れ替えをして活動意欲、季節感も解るように配慮している。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花を植えたり菜園を楽しんだり、環境作りを楽しんで頂いている。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)